

**参考資料**

**資生堂、グローバル生産体制強化にむけて、ベトナム工場竣工**

資生堂のグローバル生産体制強化にむけ、ベトナム ドンナイ省ビエンホア市アマタ工業団地内に建設中だった、世界で15番目の工場となる化粧品の生産工場が2010年2月竣工します。同工場は、今後の大きな成長が期待される中国を含むアジアの中間所得層にむけた商品を主とした、グローバル生産拠点のひとつとなります。

2月2日（火）、現地時間午前9時（日本時間同日午前11時）に代表取締役社長 前田新造の出席のもと竣工式を行います。



<世界基準の厳格な品質検査>



<最先端のクリーン環境での生産体制>

**グローバル生産体制強化とベトナム工場**

資生堂は、「日本をオリジンとしアジアを代表するグローバルプレイヤー」となることを目指し、2008年からの3ヵ年計画を推進しています。海外売上構成比は2009年3月期で約38%を占め、同比率を2017年度には5割超に伸ばさせていくことを長期目標として掲げています。これにともない、グローバルレベルでの生産体制強化、なかでも、中国をはじめとして拡大成長を続けるアジア市場に向けた対応が喫緊の課題となっていました。

そこで、アセアン諸国の中心に位置し、輸送コスト、時間の短縮、アセアン域内関税といった地理上、輸出上などの好条件に加え、若く活力のある労働力に恵まれたベトナムに、2008年4月、100%出資の生産会社「資生堂ベトナム有限責任会社」を設立し、同年12月に新工場を着工しました。

2010年2月の竣工後は、4月から本格稼働を始め、まず日本国内向けに男性用化粧品、整髪料、洗顔料などの生産を行います。今後は、2011年度から始まる次期3ヵ年計画のなかで本格展開となる「マステージ\*ビジネス」の主力生産拠点として、将来的に大きな成長が期待できるアジアの中間所得層をターゲットとする製品の生産を行います。

※ 「マステージ」とは、「通常のマス商品より値が張るが、プレステージ商品に比べると値ごろ感がある」というカテゴリーを指します。

## ベトナム工場を支える3つの柱<高品質・環境・人>

ベトナム工場は、「高品質」、「環境」、「人」を3つの柱とし、建設プロジェクトを推進しました。

1つ目の「高品質」については、国際規格 ISO22716 に準拠し、医薬品の経口薬製造において採用されている基準と同等の厳しい製造・品質管理(組織編制から、設備、衛生、人材、原料・梱包資材、廃棄などにいたるまで)を徹底します。なかでも、工場内生産ゾーンでは、空気浄化、汚染空気の侵入遮断など、化粧品製造においては極めて厳格なレベルといわれる「クリーン環境」を実現しました。

2つ目の「環境」については、CO2 排出量の削減にむけた最新の省エネ設備を設置するとともに、工場から排出される廃棄物は、リサイクル、リユースを行うゼロエミッション(廃棄物ゼロ)のための体制を整えました。

そして、3つ目の「人」については、「人材は何よりも大切な経営資源である」とする、全社的な考えに則り、新工場の人材についても、将来の資生堂を支える一員として教育に力を入れていきます。一例として、新工場のキーパーソンとなる現地採用の社員 15 名を対象に、日本で約5ヵ月の実地研修を行いました。このなかで、生産技術はもちろん、日本語や日本文化に関する学習から、資生堂の「ものづくり」の精神や企業文化まで幅広く学んでもらう機会を設けました。新工場ではこれら3つの取組みが一体となり、世界のお客さまの喜びを目指し、世界に通用する高品質の商品を供給していきます。



## 新工場の概要

会社名: 資生堂ベトナム有限責任会社(Shiseido Vietnam Inc.)

工場名(通称): 資生堂ベトナム工場

所在地: ベトナム ドンナイ省ビエンホア市 アマタ工業団地内

(Amata Industrial Park, Long Binh Ward, Bien Hoa City, Dong Nai Province, Vietnam)

敷地面積: 100,000 平方メートル

延床面積: 25,000 平方メートル

緑地面積: 69,000 平方メートル

生産棟・付属棟建築面積: 21,400 平方メートル

生産能力: 約 2,200 万個(年間)

生産品目: 化粧水・乳液・クリーム・洗顔料・整髪料

従業員数: 現在約 50 名(2010 年度末までに約 200 名の予定)

投資規模: 4,200 万 USドル

資本金: 3,900 万 USドル

稼動: 2010 年 4 月(予定)

## 資生堂の生産拠点

